

保健医療学研究科の三つのポリシー（方針）

【看護学専攻】

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

〈博士課程前期〉

看護学専攻では、2年以上在籍し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で修士論文又は課題研究論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を身につけた学生に修士（看護学）の学位を授与します。

1. 自己の専門分野に関する知識と技術、および関連領域に係わる基礎的素養
2. 研究の概念、研究法、研究倫理など、研究者に求められる基本的知識の修得
3. 適切な指導のもとに、看護学の研究課題を設定し、研究方法を組み立てる能力
4. 基本的な研究手法を用いて研究を遂行する能力
5. 研究者および高度実践看護師に求められる批判力・論理的思考力・表現力
6. 研究者および高度実践看護師に求められる倫理を遵守し、行動する能力

〈博士課程後期〉

看護学専攻では、3年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を有すると認められる者に博士の学位を授与します。

1. 専門分野における深い学識と関連領域に係る学際的知識の修得
2. 独創的な視点で研究を立案・計画し、厳格な倫理性をもって自ら遂行する能力
3. 看護学の理論の構築や技術の向上において新たな知を創造する能力
4. 研究成果を国内外に発信し、看護学の教育・研究・実践の発展に貢献できる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

看護学専攻では、学位授与方針に掲げる能力を有する人材を育成するため、以下の方針で教育課程を編成・実施します。

〈博士課程前期〉

1. 教育課程は、講義・演習中心のコースワークと、指導のもとに研究過程を展開するリサーチワークの組み合わせにより編成する。

1) コースワーク

- (1) 当該分野の専門的知識・技術を修得するための科目を設定する。
- (2) 看護学の関連領域の幅広い知識を修得するための科目を設定する。
- (3) 研究法、研究倫理などの研究者に求められる基本的な知識を修得するための科目を設定する。
- (4) 文献検討やプレゼンテーション、ディスカッション等を通して、批判力、論理的思考力、表現力を涵養する。
- (5) 専門看護師コースにおいては、高度実践看護師に求められる実践・教育・倫理調整等に関する知識と技術を修得する。
- (6) 専門看護師コースにおいては、専門分野の臨地実習によって優れた実践能力を形成する。

2) リサーチワーク

- (1) 看護学特別研究等において、指導のもとに当該分野に関する研究テーマを設定し、研究計画書を作成する。

- (2) 研究計画書審査・倫理審査を経て研究を進め、論文作成、学位審査等の過程を通して、基本的な研究力を育成する。
2. 学部学生を対象とする講義・演習・実習にティーチングアシスタントとして参加する機会を設定し、基本的な教育力を育成する。
3. 共通科目の履修を通して他分野の学生との共同学習を行い、他職種との連携能力を涵養する。

〈博士課程後期〉

1. 看護学の理論の構築や技術の向上等に係わるコースワークと、指導を受けつつ自らが研究過程を展開するリサーチワークにより、研究者としての能力を高める。
2. 学内外の学術研究に触れる機会を設定することで研究の手法やデザインを学び、自立した研究者となるための能力を高める。
3. 研究課題に係わる論文公表や国内外での学会発表等により当該分野の研究者との交流を深める。

【理学療法学・作業療法学専攻】

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

〈博士課程前期〉

理学療法学・作業療法学専攻では、2年以上在籍し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で修士論文又は課題研究論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を身につけた学生に修士の学位を授与します。

1. 専門分野に関する知識と理学療法学・作業療法学の関連領域に係わる基礎的素養
2. 研究の概念、研究法、研究倫理など、研究者に求められる基本的知識の修得
3. 適切な指導のもとに、理学療法学・作業療法学あるいはその関連領域の研究課題を設定し、研究方法を組み立てる能力
4. 基本的な研究手法を用いて研究を遂行する能力
5. 研究者に求められる批判力・論理的思考力・表現力
6. 研究者に求められる倫理を遵守し、行動する能力

〈博士課程後期〉

理学療法学・作業療法学専攻では、3年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を有すると認められる者に博士の学位を授与します。

1. 専門分野における深い学識と関連領域に係る学際的知識の修得
2. 独創的な視点で研究を立案・計画し、厳格な倫理性をもって自ら遂行する能力
3. 理学療法学・作業療法学の理論の構築や技術の向上において新たな知を創造する能力
4. 研究成果を国内外に発信し、理学療法学・作業療法学の教育・研究・実践の発展に貢献できる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

理学療法学・作業療法学専攻では、学位授与方針に掲げる能力を有する人材を育成するため、以下の方針で教育課程を編成・実施します。

〈博士課程前期〉

1. 教育課程は、講義・演習中心のコースワークと、指導のもとに研究過程を展開するリサーチワークの組み合わせにより編成する。
 - 1) コースワーク
 - (1) 当該分野の専門的知識・技術を修得するための科目を設定する。
 - (2) 理学療法学・作業療法学の関連領域の幅広い知識を修得するための科目を設定する。
 - (3) 研究法、研究倫理などの研究者に求められる基本的な知識を修得するための科目を設定する。

(4) 文献検討やプレゼンテーション、ディスカッション等を通して、批判力、論理的思考力、表現力を涵養する。

2) リサーチワーク

- (1) 理学療法学・作業療法学特別研究等において、指導のもとに当該分野に関する研究テーマを設定し、研究計画書を作成する。
 - (2) 研究計画書審査・倫理審査を経て研究を進め、論文作成、学位審査等の過程を通して、基本的な教育力を育成する。
2. 学部学生を対象とする講義・演習・実習にティーチングアシスタントとして参加する機会を設定し、基本的な教育力を育成する。
 3. 共通科目の履修を通して他分野の学生との共同学習を行い、他職種との連携能力を涵養する。

〈博士課程後期〉

1. 理学療法学・作業療法学の理論構築や治療技術の開発等に係わるコースワークと、指導を受けつつ自らが研究過程を展開するリサーチワークにより、研究者としての能力を高める。
2. リサーチアシスタントとして学術研究に係わる機会を設定することで、研究の手法やデザインを学び、自立した研究者となるための能力を高める。
3. 研究課題に係わる論文公表や国内外での学会発表等により当該分野の研究者との交流を深める。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

求める学生像

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

〈博士課程前期〉

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 保健・医療・福祉の諸問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3. 多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
4. 豊かな人間性と論理性を有し、地域の保健・医療・福祉に貢献する意思のある人
5. 研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

〈博士課程後期〉

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探求心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 保健・医療・福祉の諸問題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3. 豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
4. 研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

入学までに学習しておくことが期待される内容

〈博士課程前期〉

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術・基礎学力
2. 豊かな人間性と批判的・論理的思考力
3. 主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

〈博士課程後期〉

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力・基礎学力・基本的研究力
2. 豊かな人間性と倫理性
3. グローバルな視点と研究成果を発信するための語学力

入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

〈博士課程前期〉

*看護学専攻（修士論文コース）/理学療法学・作業療法学専攻

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|------------------------------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 学力検査（英語） | ◎ | ○ | |
| 学力検査 （小論文）（理学療法学・ 作業療法学専攻のみ） | ◎ | ◎ | ○ |
| 面接 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |

*看護学専攻（専門看護師コース）

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|---------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 学力検査（英語） | ◎ | ○ | |
| 学力検査（専門科目） | ◎ | ◎ | ○ |
| 面接 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |

〈博士課程後期〉

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|---------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 筆記試験（英語） | ◎ | ○ | |
| 口頭試問 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |